

# 言葉とは

言葉とは音声や文字によって人の感情・思想を伝える表現法。言語。

## アクセントについて

アクセントとは音の強弱による（強弱アクセント）音の高低による（高低アクセント）（長短アクセント）に分けられる。

高低アクセントは 日本語、リトアニア語、ラトビア語、セルビア・クロアチア語、スロベニア語、ヴェーダ語、古代ギリシア語、朝鮮語の一部 等。

強弱アクセントは 英語、ドイツ語、フランス語 等。

### 1. 共通語とは

明治時代、日本が独立国として海外諸国と交わりを結ぶようになった時に、日本各地の方言の違いが多く、外国人に示すためにも、標準的な日本語を作っておく必要性が迫られた。とりあえず候補に上がったのが首都東京の言葉であった。当時の国語学・言語学の最高権威者・上田万年氏は、「帝国文学」に発表した論文の中で、く日本の標準語につき一言せしめたまへ。予はこの点に就いては、現今の東京語が他日名誉を享有すべき資格を供ふる者なりと確信す。くこういう発言をした事で標準語候補の資格を占めた。この後、標準語＝理想的日本語という考えが支持されてきた。大正末期にNHKが創設され、放送用語としてアナウンサーが東京ことばを選んで全国にながし、話し言葉として広まっていった。そして、共通語は公の席で使う言葉、方言は私生活で使う言葉という対等の価値をもつ言語という色合いになった。

### 2. 共通語の音声

#### (1) 拍

どんな言語でも、一つ一つの単語は発音の面で幾つかの単位に分かれる。その一つ一つをく拍くという。日本語で「山」という単語は（ヤ）（マ）という二つの拍から出来ており、「桜」という単語は（サ）（ク）（ラ）の三つの拍から出来ている。日本人が俳句をひねろうとして、指を折って5・7・5と数える。あの時の5とか7とか全て5拍・7拍という意味である。拍はこういう意味で、その言語のリズムの単位である。日本語の拍の種類は111。英語の拍の種類は3,000以上あると言われている。中国語も拍の少ない言語だと言われながらも411個ある。種類が少ないことは、同時に不都合な事態の原因にもなる。少数の単位で、無限に多数の内容を表そうとするからである。当然同音語が多くなる。「赤」「垢」「秋」「明き」「飽き」「朝」と「麻」など同音語は幾らでもある。同音語による誤解を防ぐためアクセントが必要なのである。アクセントは同音語の区別に役立つと同時に、言葉のまとまりを示し、言葉の切れ目を表す働きをもつといえよう。下記のような同音のセンテンスで言葉の切れ目を示している。

ニワニワニワトリガイル（庭には鶏がいる）

ニワニワニワトリガイル（庭には2羽鳥がいる）

ニワニワニワトリガイル（2羽庭には鳥がいる）

## (2) 現代仮名遣い

(イ) <sup>ちよくおん</sup>直音 国語の音節のうち、一つの母音または一子音と一母音とから成るもの。促音・擬音を除き仮名一字で表される。(ア)～(ワ)までの仮名。特殊な直音節として(ツァ)(ウオ)がある。  
オトツツァン

(ロ) <sup>ようおん</sup>拗音 日本語の音節のうち、二字の仮名で書き表すもの。  
(キャ・キュ・キョ・ギャ・シャ・シュ・シヨからリャ・リュ・リョ)まで。

### 対応する拗音をもつもの。清音 (括弧内が拗音)

|    |   |           |   |   |      |   |        |
|----|---|-----------|---|---|------|---|--------|
| あ行 | あ | い         | う | え | お    |   |        |
| か行 | か | (きゃ・くわ)   | き | く | (きゅ) | け | こ (きよ) |
| さ行 | さ | (しゃ)      | し | す | (しゅ) | せ | そ (しよ) |
| た行 | た | (ちゃ)      | ち | つ | (ちゅ) | て | と (ちよ) |
| な行 | な | (にゃ)      | に | ぬ | (にゅ) | ね | の (によ) |
| は行 | は | (ひゃ)      | ひ | ふ | (ひゅ) | へ | ほ (ひよ) |
| ば行 | ば | (びゃ)      | び | ぶ | (びゅ) | べ | ぼ (びよ) |
| ま行 | ま | (みゃ)      | み | む | (みゅ) | め | も (みよ) |
| や行 | や | (い)ゆ (え)よ |   |   |      |   |        |
| ら行 | ら | (りゃ)      | り | る | (りゅ) | れ | ろ (りよ) |
| わ行 | わ | ゐ (う)ゑ    | を |   |      |   |        |
|    | ん | ん         |   |   |      |   |        |

### 対応する拗音をもつもの。濁音 (括弧内が拗音)

|    |   |           |   |      |      |   |        |
|----|---|-----------|---|------|------|---|--------|
| あ行 |   |           |   |      |      |   |        |
| が行 | が | ぎ         | ぐ | (ぎゅ) | げ    | ご | (ぎよ)   |
| ざ行 | ざ | (じゃ)      | じ | ず    | (じゅ) | ぜ | ぞ (じよ) |
| だ行 | だ | (ぢゃ)      | ぢ | ず    | (ぢゅ) | で | ど (ぢよ) |
| ば行 | ば | (びゃ)      | び | ぶ    | (びゅ) | べ | ぼ (びよ) |
| ま行 | ま | (みゃ)      | み | む    | (みゅ) | め | も (みよ) |
| や行 | や | (い)ゆ (え)よ |   |      |      |   |        |

(ハ) <sup>はつおん</sup>撥音 現代日本語で「ん」と表記される音の名称。はねる音ともいう。  
語中または語末にあつて一音節をなす鼻音。「ん・ン」で表記する。  
(まなんで・みなさん・しんねん・しゅんぶん)

(ニ) <sup>そくおん</sup>促音 つまる音ともいい、日本語のかな表記で「っ」「っ」で表される。  
一拍分だけ息を止めるものをいう。 はしって・かっき (活気)・がっこう

(ホ) <sup>ちようおん</sup>長音 長く引き延ばして発せられる音。おとーさん・おかーさん・おじーさん・ふーふ・おねーさん  
(コー)(ソー)とかいう2拍分を言う術語で引く音と呼ぶのが適当である。  
呼応(コオー) 好悪(コーオ)



## 5. ガ行鼻音

(1) 語頭のガ行音は鼻音に発声されず、破裂音で発音される。

外国 = ガイコク。義理 = ギリ。元気 = ゲンキ。

但し、助詞、助動詞は、前に語を伴わないで発音されるときでも鼻音で発音される。

位 = グライ。如し = ゴトシ。

(2) 語中、語尾のガ行音は原則として鼻音で発音される。

上がる = アガル。鍵 = カギ。櫓 = ヤグラ。

但し、次のような場合は鼻音化しない。

(イ) 擬声、擬態語で同じ音を繰り返す場合。

ゴトゴト。ガラガラ。ギーギー。グーグー。ゴーゴー。

(ロ) 数詞の五の場合。

十五 = ジュウゴ。五十五 = ゴジュウゴ。五百五十 = ゴヒャクゴ。

但し、熟語化したものは鼻音化する。

七五調 = シチコチョー。十五夜 = ジュウコヤ。三五郎 = サンゴロウ。

(ハ) 接頭語の次にガ行音がくる場合。

お義理 = オギリ。お元気 = オゲンキ

接頭語とは常に他の語の前に付いて用いられる語構成要素で、自立語の上に付けて意味を添えたり、調子を整えたりする語。単独では用いられない。

「お」「ま」「か」の種類。お庭。ま正面。か弱い。ま昼。お寺。お、ま、か、など。

但し、敬語以外の場合は両方に発音されることが多い。

不義理 = フギリ、フギリ

(ニ) 後部がガ行音で始まる複合語、二語の意識のかなり残るもの。

美容学校 = ビヨウガッコウ。世界銀行 = セカイギンコウ。

但し、後部が連濁する場合は鼻濁音になる。

横書き = ヨコガキ。買い薬 = カイグスリ。雪国 = ユキグニ。

連濁とは人と人が複合して。 人々 = ヒトビト。

旅と人が複合して。 旅人 = タビビト。

となるように、語が複合すると後部の語頭の清音の子音が、前部の最後の母音の影響で有声化し濁音に現象がある。この現象を連濁という。

(ホ) 外来語は原音で鼻音のもの。ジャングル。

日本に入って一般化している語。イギリス。オルガン。

以上は共通語にみられるガ行鼻濁音の法則であるが、個々の語の発音にあたっては、必ずしも問題が無いわけではない。